

### 人工透析患者に対する治療体制を整えよ

山田町長／体制構築を国・県等に強く求める

**北郷** 当町の腎臓機能障害による人工透析患者は、原子力災害前は、近くの富岡町等の治療施設に通院していました。現在は、避難先周辺で、透析治療を受けていると思われず。

① 広野町の人工透析患者は何人いますか。

② 町民の帰還を促している町としては、広野町内、または、近隣で治療が受けられる体制を構築すべきではないですか。

**町長** ① 社会保険に加入している方については正確な人数を把握するのは難しいですが、国民健康保険、後期高齢者医療の特定疾病療養者ならびに腎臓機能障害による身体障害者手帳の発行数等から勘案すると18名です。

② 町内等近隣で透析のできる医療体制の構築は国・県等に強く求めていきますが、実現には時間を要することから、町に帰還しても通院の負担軽減を図るため、医療機関への患者送迎の要請や通院費用助成の拡充を図っていきたいと考えています。



北郷 幹夫 議員

### 原子力災害に係る相談窓口を設置せよ

山田町長／実現に向けて努力します

**北郷** 「財物等」に係る賠償基準が平成24年7月24日に公表されました。町民からの原子力災害の賠償に対応するためにも、専門的知識を持った人（弁護士等を委嘱）による相談窓口を設置すべきではないですか。

② 町内等近隣で透析のできる医療体制の構築は国・県等に強く求めていきますが、実現には時間を要することから、町に帰還しても通院の負担軽減を図るため、医療機関への患者送迎の要請や通院費用助成の拡充を図っていきたいと考えています。

**町長** 今後、賠償の高度な法律的な判断を要する案件が増えるものと考えられますので、「原子力災害に係る相談窓口の設置・開設」の実現に向けて努力します。

② 町内等近隣で透析のできる医療体制の構築は国・県等に強く求めていきますが、実現には時間を要することから、町に帰還しても通院の負担軽減を図るため、医療機関への患者送迎の要請や通院費用助成の拡充を図っていきたいと考えています。



定期健康診断を受けましょう

### 中学校部活動再開についての考えは

芦川教育長／学校と協力しながら適切に指導

**門馬** 中学校は生徒数が31人で部活動の再開を目指すために、生徒に希望を調査するつもりでしたが、教育委員会としてはどのように考えていますか。

**教育長** 対象生徒全員に部活動希望調査を実施しましたが、希望があったすべての活動をした場合、中体

連出場など、団体競技として成り立たない部活があるため、その教育効果を考慮しつつ、学校と協力しながら適切に指導していききたいと考えています。

また、保護者負担軽減のため中体連や練習試合の際の移動経費等の助成を震災以前同様に交付したいと考えています。



交通量が増える国道6号線

### 交通量増に対する町の取り組みは

芦川教育長／事業者等に交通ルールの徹底を要請

**門馬** 学校が再開しスクールバスによる通学が始まりました。町内には復旧作業に伴う企業等の事業所も増えており、朝夕の町通りの交通量が増えています。これらに対する町の取り組みは。

② 町内等近隣で透析のできる医療体制の構築は国・県等に強く求めていきますが、実現には時間を要することから、町に帰還しても通院の負担軽減を図るため、医療機関への患者送迎の要請や通院費用助成の拡充を図っていきたいと考えています。

**教育長** スクールバスの運行時間は混雑がある程度見込んだ上で、運行経路等の調整をしています。

朝夕の混雑については、企業・事業所に対して、交通ルールの徹底を要請し、警察の交通指導なども併せて要請します。

### 通学に関する意向調査後の働きかけは

芦川教育長／モニタリングの情報を周知

**門馬** 教育委員会の意向調査によると今回の再開には就学を希望しなかったが、25年4月以降、時期未定を入れて87名が通学させたいと考えています。また、通学を考慮していない・分からないと回答した261名の児童・保護者に対する働きかけはどのようにしますか。

**教育長** 少数ではありますが、調査時に通学しないと回答した児童生徒の中にも、その後、広野町立学校に通学する児童生徒がいる状況もあり、意向調査時点での保護者の考え方が変わってきていると推測します。

町として全体的な復興を進めながら、学校のモニタリングの状況などの情報を広報、学校だより、ホームページなどを通じて保護者や町民の皆さんへ周知することで理解が得られると考えています。



門馬まりえ 議員